

奈良県感染症情報

平成 30 年 第 36 週(9 月 3 日～ 9 月 9 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 8 月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

❖ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ❖

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RS ウイルス感染症	3.91	(3.18)	↑↑	↑↑	↑	↓
2	感染性胃腸炎	3.06	(2.56)	→	↗	→	↗
3	手足口病	1.35	(0.94)	↗	↗	↑	↓
4	A 群溶連菌咽頭炎	0.79	(0.85)	↘	↓	→	↑↑
5	ヘルパンギーナ	0.74	(1.12)	↓	↓	↘	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

❖ 県内概況 ❖

RS ウイルス感染症は報告数がさらに増加しています。特に中和保健所管内西部地域では定点当たり報告数が7.3と高い状態です。今後も冬頃まで増加し、流行が続くことが予想されます。呼吸器系の症状がある場合はマスクを着用し、重症化しやすい生後数ヶ月までの乳児や高齢者との接触を避けましょう。

手足口病の報告数は、郡山保健所管内と中和保健所管内西部地域で特に多くなっています。手足口病やヘルパンギーナは、感染の原因となるウイルスの便中への排泄が2～4週間続くとされています。流行のピークを過ぎても、トイレのあとやおむつの交換後は、流水・石けんによる手洗いを行いましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

夏休み明けで感染症の患児は少ない。手足口病やヘルパンギーナ等の夏かぜも今シーズンは小さな流行でほぼ無くなっている。保育園児で風邪症状から弛張熱、喘鳴が出てくる RS ウイルス感染症が例年よりも早期に増加している。現在目立つのは、対象疾患でない喘息と鼻炎のアレルギー疾患である。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

感染症は少ない。

軽度の感冒症状程度。喘鳴の乳児例があったが RS・hMPV は陰性。

手足口病・ヘルパンギーナ・アデノ等の夏風邪はほぼ見られなくなった。

伝染性紅斑の成人女性例があり発熱、手肢のこわばり等比較的重い経過であった。

感染性腸炎が少し。血便等細菌性と思われる例はなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

夏カゼは減少してきた。RSV感染症の流行は続いている。下痢・嘔吐の胃腸炎も多い。

筋肉痛を伴う急な高熱が数例みられたが、いずれもインフルエンザは陰性で、対症療法ですみやかに軽快した。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 36 週 9 月 3 日 ~ 9 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	2 (0.04)				2 (0.20)			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	133 (3.91)	11 (1.22)	44 (4.89)	33 (4.71)	44 (7.33)		1 (0.50)	
咽頭結膜熱	10 (0.29)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)	7 (1.17)			
A群溶連菌咽頭炎	27 (0.79)	1 (0.11)	1 (0.11)	5 (0.71)	15 (2.50)		5 (2.50)	
感染性胃腸炎	104 (3.06)	18 (2.00)	33 (3.67)	21 (3.00)	28 (4.67)		4 (2.00)	
水痘	2 (0.06)		2 (0.22)					
手足口病	46 (1.35)	2 (0.22)	19 (2.11)	6 (0.86)	19 (3.17)			
伝染性紅斑	5 (0.15)		1 (0.11)	2 (0.29)	2 (0.33)			
突発性発しん	20 (0.59)	6 (0.67)	4 (0.44)	5 (0.71)	5 (0.83)			
ヘルパンギーナ	25 (0.74)	5 (0.56)	5 (0.56)	10 (1.43)	4 (0.67)		1 (0.50)	
流行性耳下腺炎	2 (0.06)		1 (0.11)		1 (0.17)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	12 (1.20)	2 (0.67)	1 (0.33)	5 (2.50)	4 (2.00)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	2 (0.33)			2 (2.00)				
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)				2 (2.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市1、中和2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症3件(中和3)
4類感染症	レジオネラ症1件(中和1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(奈良市1、郡山1) 梅毒1件(郡山1) 百日咳1件(奈良市1、3歳)

❖ 第36週のトピックス ❖

◆災害時における避難所での感染症対策

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00346.html

◆清掃作業をされる方へ

<https://www.mhlw.go.jp/content/000333887.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

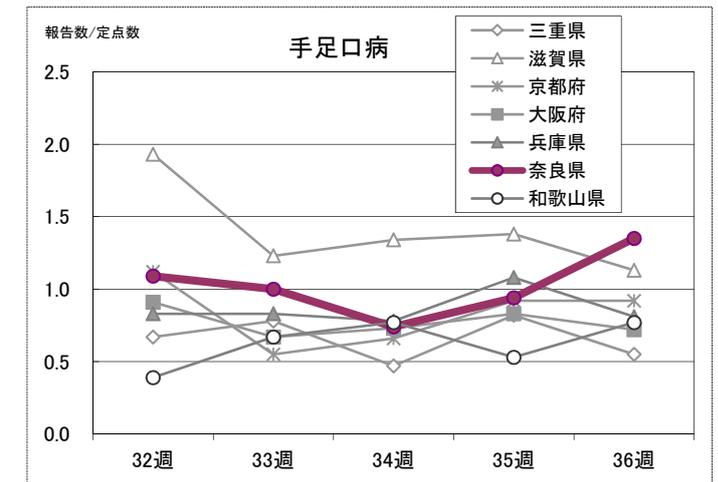
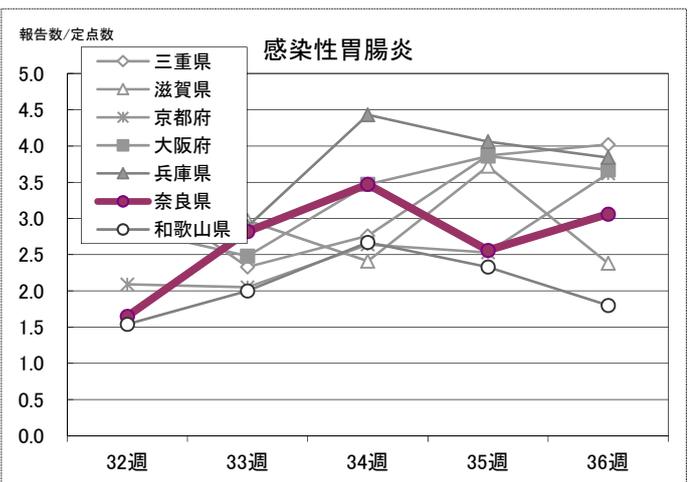
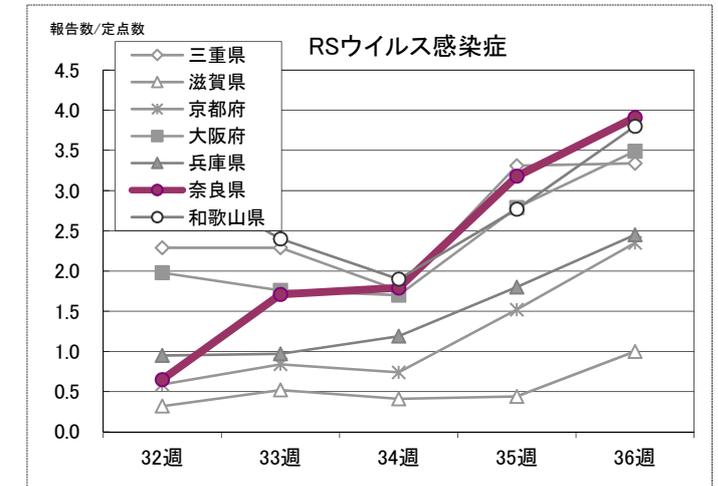
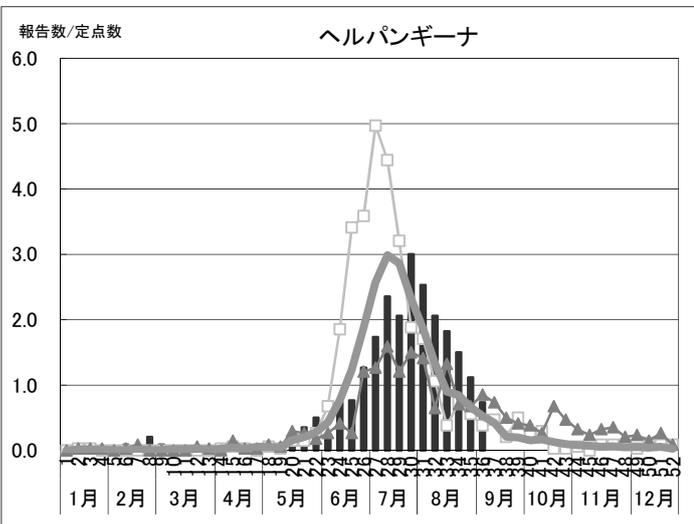
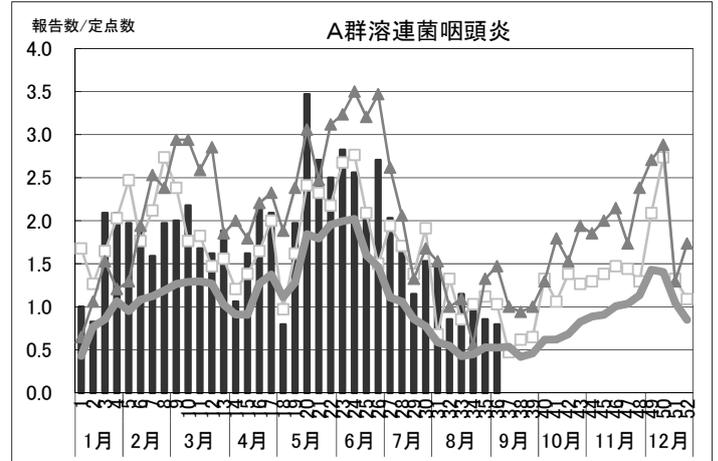
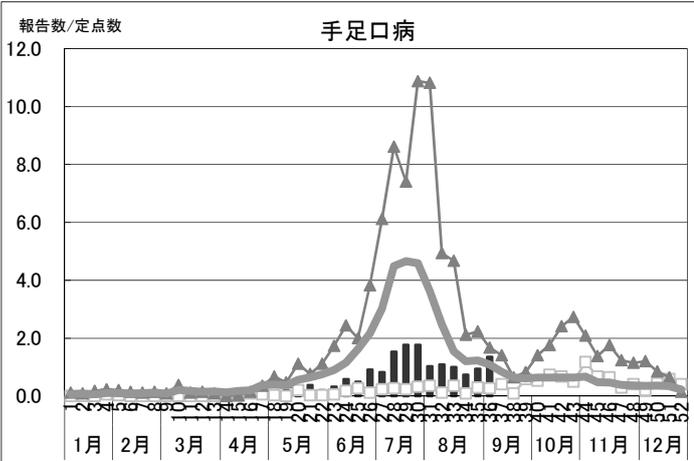
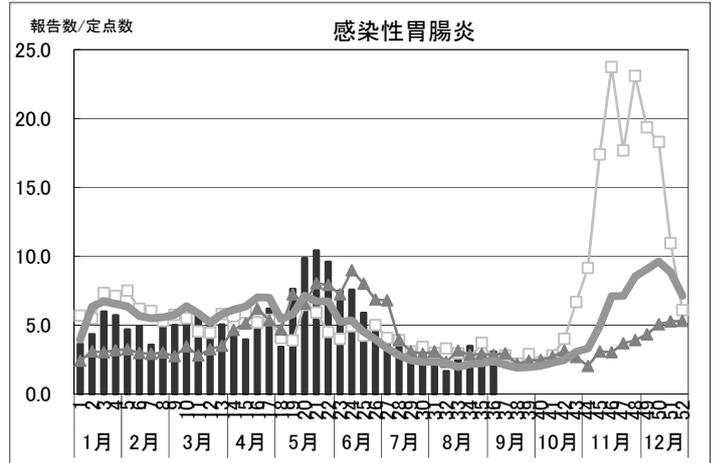
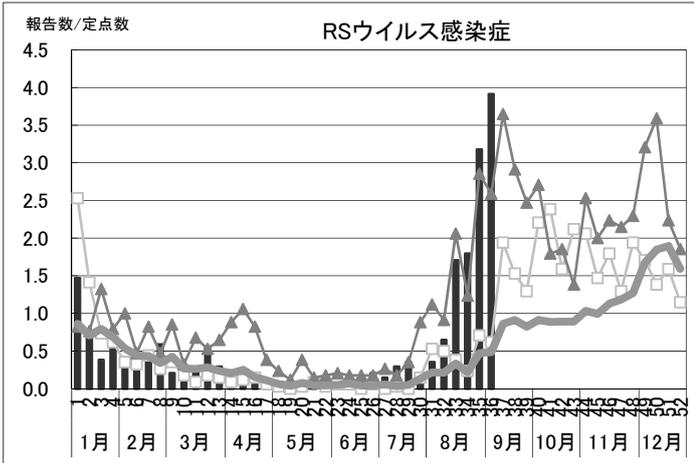
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男			1																		1	7849
	女								1													1	7816
RSウイルス感染症	男	4	14	20	14	7	2															61	367
	女	6	14	25	18	7	2															72	320
咽頭結膜熱	男		1	2	1	1		1														5	236
	女		1	1	1	1				1												5	207
A群溶連菌咽頭炎	男			2	2	2	1	4	1	2	4		1									17	1154
	女			2	2	2	2	3				1										10	1016
感染性胃腸炎	男	1	4	5	6	9	3	2	1	5	4	1	3	3	7							54	3321
	女		2	8	7	4	4	2	2	2	2	5	2	4	6							50	2908
水痘	男							1														1	153
	女		1																			1	168
手足口病	男	1	1	10	6	1	6	1	1													27	319
	女			8	9	1	1		1													19	257
伝染性紅斑	男						1	1														2	101
	女			1					1													3	108
突発性発しん	男		4	9																		13	269
	女	1		5	1																	7	240
ヘルパンギーナ	男			3	2	1	2	2	1													11	431
	女			3	4	2	2	1	1	1												14	370
流行性耳下腺炎	男												1									1	48
	女							1														1	35
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						
流行性角結膜炎	男			1								1										3	86
	女			2		1							1		1	1						9	98
細菌性髄膜炎	男																						5
	女																						6
無菌性髄膜炎	男						1															1	6
	女																					1	2
マイコプラズマ肺炎	男		1	1																		2	15
	女																						15
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						32
	女																						22

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 8 月

	北部		中部		南部		上段：報告数														合計	累計					
	奈良県	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野	(下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数																			
性感染症定点数	11	3	3	2	3	0	0	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
性器クラミジア感染症	14 (1.27)	2 (0.67)	6 (2.00)	1 (0.50)	5 (1.67)	男							3		2	1							6	57	
						女				1		3	3	1									8	54	
性器ヘルペス	6 (0.55)	1 (0.33)	1 (0.33)		4 (1.33)	男																	7	38	
						女				1		1				2				1			6	38	
尖圭コンジローマ	3 (0.27)		3 (1.00)			男							1										3	26	
						女														1			10	10	
淋菌感染症	4 (0.36)		3 (1.00)		1 (0.33)	男								2	1	1							4	29	
						女																	2	2	
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	64 (10.67)	27 (27.00)	12 (6.00)	13 (13.00)	10 (10.00)	...	2 (2.00)	男	3		1	1								2	2	1	1	2	29	42	240
						...		女	3		1			1		1					1			2	12	22	151
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2 (0.33)		2 (1.00)			男																	1	1	29
						女															1		1	1	13
薬剤耐性緑膿菌感染症	1 (0.17)		1 (0.50)			男																	1	1	3
						女																			

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28

